

試合番号 : 403	試合会場 : 紫波町総合体育館	観客数 : 550			
開始時間 : 12:00	終了時間 : 13:36	試合時間 : 01:36			
主審 : 高橋 宏明	副審 : 早坂 行博				
PFUブルーキャッツ	通算 9勝 11敗 ポイント : 28	25 第1セット 17	0	ヴィクトリーナ姫路	通算 2勝 18敗 ポイント : 11
<p>監督コメント</p> <p>第1セットのスタートでやるべきことを徹底し、とりきることが出来て良かった。第2セット、第3セットはこちらが単調になったところを狙われ、連続失点してしまっただけのところもあったが、何とか最後、逆転することが出来て良かった。今後、紫波町でのホームゲームが冬の風物詩となるように盛り上げていきたいと思う。本日も沢山のご来場ありがとうございます。</p>	3	25 第2セット 20	0	<p>監督コメント</p> <p>本日も寒い中、大勢の皆様にご来場、ご観戦賜り、誠にありがとうございます。昨日のゲームを振り返り、修正点を明らかにして臨んだゲームでしたが力が及ばなかった。ゲーム中盤から終盤にかけての競り合いで力を発揮出来なかったことが悔やまれる。これを学びにして次週に臨みたい。引き続きのご声援をよろしくお願ひ申し上げます。</p>	
		26 第3セット 24			
		第4セット			
		第5セット			
<p>要約レポート</p> <p>第1セット、ゲーム開始から一進一退の攻防で点数を重ねる。終盤PFUが鍋谷のアタックを皮切りに3連続得点を挙げ、更に点差を広げることに成功。PFUが試合の流れを握ると志摩、細沼のサーブで相手を追い詰め25-17でセットを得る。第2セット、第3セット共に姫路は宮部のアタックで各セット5点リードするも、第2セットはPFU志摩のアタック、第3セットはバルデスのスパイクやブロックによる活躍で逆転され、セットを連取しPFUがストレートで勝利した。この試合でPFUの鍋谷はVリーグ通算出場回数が230試合となった。10シーズン230試合以上出場となり、Vリーグ栄誉賞の受賞を連勝で飾ることができた。</p>					

試合番号 : 404	試合会場 : サイデン化学アリーナ (さいたま市記念総合体育館)	観客数 : 750			
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:18	試合時間 : 02:18			
主審 : 品川 美帆	副審 : 浅井 唯由				
埼玉上尾メディックス	通算 12勝 6敗 ポイント : 34	23 第1セット 25	3	デンソーエアリービーズ	通算 9勝 11敗 ポイント : 28
<p>監督コメント</p> <p>たくさんのご声援ありがとうございます。地元・埼玉県のたくさんの方の皆様の前で勝利をお届けすることができず残念です。メディックスの選手たちは目の前の1点に集中して攻める気持ちで戦ってくれました。一つ一つのプレーの精度を上げられるように、チーム丸となって取り組んでいきます。</p>	1	25 第2セット 18	3	<p>監督コメント</p> <p>昨日の敗戦から、今日はスタートに集中して試合に入ろうと臨みました。序盤から相手のサーブに対応して、サイドアウトを取っていくことができました。サーブ&ブロックでも相手にプレッシャーをかけることができ、終盤の競った場面での得点に繋がりました。来週で2レグが終わるので、2連勝して3レグの巻き返しに繋がっていきます。2日間熱いご声援ありがとうございます。</p>	
		27 第3セット 29			
		26 第4セット 28			
		第5セット			
<p>要約レポート</p> <p>ホームで2連勝したい埼玉上尾メディックスとデンソーエアリービーズの一戦。第1セット序盤、デンソーは兵頭、横田(紗)の攻撃でリードする。中盤は埼玉上尾が、ロソのスパイクやブロックで追いつくも最後はデンソー中元がスパイクを決めこのセットを先取る。第2セットは、中盤まで埼玉上尾は内瀬戸のスパイク、デンソーは横田(紗)のブロックで白熱した攻防が続いたが、終盤、埼玉上尾はサンディアゴのブロックで流れをつかみ、ロソの強烈なスパイクでこのセットを取り返した。第3セットは、デンソーはネリマン、埼玉上尾はロソ、佐藤の打ち合いで終盤まで一進一退の攻防が続く。両チームともに粘り強く繋ぐというラリーが繰り返されたが、最後はデンソー高橋のサーブポイントで競り勝った。第4セットは、デンソーは横田(紗)のブロック、ネリマンのスパイクでリードする。終盤、埼玉上尾は山崎、サンディアゴのブロックで追いつき、デュースに持ち込んだが、デンソーは横田(真)のブロックや中元のサーブで突き放し勝利した。</p>					

試合番号 : 405	試合会場 : 大田区総合体育館	観客数 : 2,280			
開始時間 : 13:05	終了時間 : 15:24	試合時間 : 02:19			
主審 : 増岡 三佳子	副審 : 津嶋 由香				
NECレッドロケッツ	通算 12勝 6敗 ポイント : 38	15 第1セット 25	3	久光スプリングス	通算 13勝 7敗 ポイント : 37
<p>監督コメント</p> <p>本日もたくさんの方の応援をありがとうございます。昨日の敗戦を踏まえて、もう一度チームのオフenseにフォーカスして挑んだ一戦でした。私達のリズムで戦えた時間帯も多くなりましたが、最後は久光の高い壁に苦しめられました。まだまだ成長できる部分、強くなれる部分はたくさんあります。この敗戦を糧にチーム全員で強くなりたいと思います。来週からも熱い応援をよろしくお願いいたします。</p>	2	30 第2セット 28	3	<p>監督コメント</p> <p>今日も昨日同様、相手のサーブに苦しめられるシーンが多かった。サーブレシーブで耐えて、取るべきところでしっかり得点を取ることが勝因と思う。2日間を通してタフなゲームを取り切ったことはチームの成長に繋がったと感じる。また、2日間素晴らしいゲームを繰り広げた両チームの選手を称えたい。まだまだ負けられない戦いが続きますが、引き続き応援をよろしくお願いいたします。2日間、熱い応援ありがとうございます。</p>	
		25 第3セット 22			
		16 第4セット 25			
		9 第5セット 15			
<p>要約レポート</p> <p>現在12勝同士のNECレッドロケッツ対久光スプリングスの試合。第1セット、序盤から久光・ファンヘック、濱松、中島がNECを攻め立て、リードを奪った。それに対しNECは中川を司令塔に古賀、柳田、上野が応戦したが、その差は埋まらず終盤を迎えた。最後は久光・ファンヘックの攻撃が決まりセットを先取した。第2セット、NEC・古賀、廣田の攻撃が決まりスタートダッシュに成功し、久光を突き放す。流れを変えようと久光は司令塔を井上に代え、追いつくことに成功した。デュースの末NEC・山田のダイレクトアタックが決まりこのセットを手に入れた。第3セット、主導権を握るべく両チームとも一歩も引かず接戦を繰り広げる。中盤NEC・古賀の攻撃が要所で決まりリードを奪った。その後もリードを保ったまま最後はNEC・古賀の攻撃が決まりセットを連取した。第4セット、後のない久光は中島の活躍により序盤リードを奪うことに成功した。その後もリードを広げ、最後は久光・ファンヘックの攻撃が決まりこのセットを手に入れた。第5セット、序盤から激しくメンバーチェンジを繰り返し何とか自チームに流れを呼び込もうとした両チームだが、久光・ファンヘックがブロック、アタックと活躍しリードを奪うと、最後は久光・濱松がブロックを決め勝利を手に入れた。</p>					

試合番号 : 406	試合会場 : ウィングアリーナ刈谷	観客数 : 640			
開始時間 : 11:05	終了時間 : 13:10	試合時間 : 02:05			
主審 : 吉岡 奈々	副審 : 明井 寿枝				
トヨタ車体クインシーズ	通算 11勝 9敗 ポイント : 30	25 第1セット 20	3	日立Astemoリヴァーレ	通算 8勝 12敗 ポイント : 24
<p>監督コメント</p> <p>ホームゲーム2戦目。何としてでも2連勝したかったが、悔しくも負けてしまった。これからは後半戦、チームのパフォーマンスを上げていけるよう、今回の負けを反省し来週のゲームにつなげていきたい。本日もたくさんの方の応援、ありがとうございます。来週もよろしくお願いいたします。</p>	1	20 第2セット 25	3	<p>監督コメント</p> <p>まずは勝ち点3点で勝利できて良かったです。今日は試合は苦しい状況の中で選手たちがよく頑張ってくれました。細かいプレーが繋がって流れを切らなかつたことが勝因だったと思います。リーグ戦も後半に入りませんが、どのチームに対しても諦めず粘り強く戦っていきます。来週はホームゲームなので、今日の勝利の意味あるものにできるように取り組んでいきます。引き続きご声援をよろしくお願いいたします。</p>	
		20 第3セット 25			
		17 第4セット 25			
		第5セット			
<p>要約レポート</p> <p>トヨタ車体クインシーズが日立Astemoリヴァーレをホームに迎えての2戦目。第1セット序盤、トヨタ車体が周田のブロックやリベロ立石の粘り強いレシーブからダニエルがスパイクを決め、日立Astemoは長内がスパイクを決める。中盤、トヨタ車体はハッタヤのクイックや嶋原のレシーブからダニエルがスパイクを決め得点を重ねる。日立Astemoも渡邊のクイックで食らいつくと、終盤、日立Astemoは室岡のスパイクで得点するが、最後はトヨタ車体がダニエルのスパイクでセットを先取した。第2セット、序盤から日立Astemo長内のブロックとスパイクが決まる。対するトヨタ車体は、周田のクイックやサービスエースで得点を重ねる。中盤、日立Astemoは上坂のスパイクや伊澤のブロックで得点を重ね、14-9と5点差をつけた。苦しくなったトヨタ車体はハッタヤ、嶋原のスパイクなどで追いつけるも、リードを保った日立Astemoは上坂の活躍などで得点を重ね、このセットを奪取した。第3セット、序盤からトヨタ車体は大川、日立Astemoは野中が粘りのレシーブを見せる。中盤、日立Astemoは野中や渡邊のスパイクが決まり、トヨタ車体は大川に代わって入った吉永や嶋原がスパイクを決める。終盤、トヨタ車体はダニエルのスパイクなどで得点を重ねるが、日立Astemoは野中のスパイクが決まり、このセットも連取した。第4セット、序盤から日立Astemo長内のスパイクで4対0とリードする展開となる。トヨタ車体は周田のスパイクで食らいつくと、終盤まで日立Astemoがリードする展開となり、序盤から調子を上げていた長内の勢いが止まることなく、この試合に勝利した。</p>					

試合番号 : 407		試合会場 : ジップアリーナ岡山 (岡山県総合グラウンド体育館)				観客数 : 870			
開始時間 : 13:30		終了時間 : 15:44		試合時間 : 02:14		主審 : 林 淳一	副審 : 原 啓之		
岡山シーガルズ		通算 5勝 13敗 ポイント : 18		21 第1セット 25		JTマーヴェラス		通算 15勝 5敗 ポイント : 44	
監督コメント	昨日の疲れが出るだろうと思われたが、ホームゲームとあって、ファンの皆様の後押しで2セット目から疲れも忘れ、粘りが随所に出たことで勝利を手にした。空同大会の敗戦が活かされた2戦だったように思う。2日間に渡り、大変寒い中会場に足を運んでくださった皆様、応援して下さい。2日間ありがとうございました。			3		2		昨日の試合から自分達の修正と相手がどんなチームなのか、何をやるかとしているのかを確認し、今日に臨んだ。ラリーをする中で得点を取れる場面を逃してしまい、相手のリズムになってしまった。個人で戦うのではなく、ユニットで動き、チームで戦っていかねばならない。2日間ありがとうございました。	
				25 第2セット 22					
				21 第3セット 25					
				25 第4セット 19					
				15 第5セット 9					
要約レポート									
昨日に続きホームで連勝を狙う岡山シーガルズと連敗は避けたい首位JTマーヴェラスの一戦。第1セット、序盤からJTは林、和田の攻撃やタツタオのブロックなどでリードを奪う。岡山も金田やタナッチャの得点で反撃し追い上げるが、JTは田中や和田の得点でリードを守り切り、セットを先取した。第2セット、岡山は長瀬の速攻やタナッチャのブロックなどで得点しリードを奪う。流れを掴んだ岡山は持ち味の粘り強いレシーブから多彩な攻撃を展開しリードを広げる。JTも榊原や和田の攻撃などで反撃し追い上げるが、岡山は付やタナッチャの得点などで逃げ切り、セットを奪い返した。第3セット、序盤、JTがタツタオや林のブロックなどでリードを奪う。岡山も船田の好レシーブからラリーを制し反撃するが、JTは林や田中の得点などで終盤までリードする。岡山も金田や中本の活躍で粘りを見せるがJTがリードを守り、このセットを奪った。第4セット、序盤から岡山が金田の攻撃やブロックで得点しリードを奪う。JTも田中や和田の攻撃などで反撃するが、岡山は川島や長瀬の速攻などで得点しリードを守り切りセットを奪った。勝負の第5セット、勢いに乗った岡山はファンの後押しもあり、金田や長瀬が攻撃やブロックなどで活躍しリードを奪う。JTも林の攻撃などで反撃するが、岡山は中本、付、タナッチャのブロックなどでリードを広げこのセットも奪い、昨日に続きホームで首位JTに連勝した。									

試合番号 : 408		試合会場 : 愛媛県武道館				観客数 : 684			
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:48		試合時間 : 01:48		主審 : 千代延 靖夫	副審 : 栗崎 慎太郎		
東レアローズ		通算 14勝 6敗 ポイント : 40		25 第1セット 19		KUROBEアクアフェアリーズ		通算 6勝 12敗 ポイント : 16	
監督コメント	昨日の反省からゲームの入り方を大切に、最後まで勢いを持って挑もうとしましたが、KUROBEアクアフェアリーズの粘りの強さの前に、自分たちの持ち味の攻撃力を発揮することができませんでした。今週出た課題の一つつ潰していけるように、来週に向けて良い準備をしていきます。本日は応援ありがとうございました。			1		3		昨日のゲームでは自らミスを出してしまい、敗戦となりました。その反省点を改善しつつ、誰かに攻撃を頼るのではなく、全員で戦うことが出来ました。本日の結果に満足することなく、引き続きチームの成長を目指し、次のゲームに向けて準備したい。	
				22 第2セット 25					
				22 第3セット 25					
				18 第4セット 25					
				第5セット					
要約レポート									
第1セット、序盤は一進一退の攻防が続いたが、東レアローズの石川、野呂のスパイクにより一歩抜け出す。KUROBEアクアフェアリーズは、イヴェギン、コクラムのスパイクで追いつくも、終盤、東レが石川、野呂のスパイクで連続得点し、セットを先取した。第2セット、序盤からKUROBEの山口、中村のセンター攻撃が序盤から機能し、KUROBEがリードしながら試合を進めていく。終盤、東レがクラン、石川のスパイクで、連続得点を上げ追いつくが、リズムに乗ったKUROBEが、セットを奪い返した。第3セットもKUROBEがセンター攻撃を交えた多彩な攻撃で、リズムよく得点を重ねていく展開。東レは粘り強いレシーブから、クランの高さを生かした攻撃や西川のコースをついたスパイクで追いつくが、最後は、KUROBEのイヴェギン、コクラムのスパイクで突き放し、セットを連取した。第4セットも流れは変わらず、KUROBEがセンター攻撃を絡め、リズムよく点数を積み重ねる。東レは、セッター関から真鍋に交代し、流れを変えようと試みるが、攻撃のミスも重なり、最後まで追いつくことができず、KUROBEが3セット連取で勝利した。									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	副審 :		
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット		監督コメント			
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	副審 :		
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット		監督コメント			
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									